

“これがなかなかうまく入らない” (輪なげ)

広報 ひがし しらかわ

1993
平成5年
10
No.389

- 発行/東白川村
- 編集/企画財政課
- 岐阜県加茂郡東白川村神戸
〒509-13 ☎05747(8)3111
- 印刷/下呂印刷株式会社

人口の動き

—9月末住民登録人口から—

世帯数	906世帯
人口	3,440人
転入	1人
転出	1人
出生	1人
死亡	4人

先月と比較して4人減
 昨年同月と比較して
 11人減

第2の青春真ただ中!!

今年で19回を数える「老人まつり」が、敬老の日の9月15日、中学校体育館において行われ、村内7つの老人クラブ、約250人のお年寄りが楽しい1日を過ごしました。

午前中は、玉入れなどクラブ対抗の小運動会。

お昼に食改協の皆さん手作りのお弁当が配られ、お酒もちよびり入ると自慢ののどを披露されるお年寄りの姿も…。

また、この日の最高齢者、今井良吉さん(93歳・神付)、今井倉太さん(92歳・平)、今井るいさん(88歳・黒淵)には花束が贈られました。



健康づくりを推進しよう

源平玉入れに大ハッスル

聞くところでは大違い

中学校教員農業体験実習

「農村における後継者不足」これは、私たちの村だけに限らず全国的な視野で見ても切実な課題です。

「何とか将来を担う子どもたちに農業に少しでも興味を持ってもらいたい」—そんな願いを込めて一つの新しい試みが行われました。それは、子どもたちを教える立場にある先生たちの農業体験実習です。

経営面に質問集中

これまで農業の後継者育成の対策としていろいろな取り組み

がなされてきましたが、将来の村を担う子どもたちの最も身近にいる先生たちに村の農業を少しでも理解していただくためのこうした体験実習は、ま

つたく初めての試みでした。九月二十四日、午後から



みなさんから説明を受ける川明義さんから指導協農

行われた実習には、熊崎校長先生を含め、十二人の先生全員が参加。実習日程は下に示した表のとおりですが、各視察場所にも単に見ながら説明を聞くばかりでなく、実際に例えば、選果場では、トマトの選別、箱詰め、味の館では、ジュース作りといった作業を体験「施設がどこにあるかという程度しか、今までは知りませんでした、各施設

の中でどんな作業を行っているか初めて知りました」といった感想も聞かれ、評判も上々のようでした。

中でも昭幸園

でのカーネーションと添え花を使った花束作りや、肉牛の生体重予想などは好評だったようです。

いつもは、質問を受ける側の先生たちですが、この日は生徒とあって各所でいろいろな質問が飛び出しました。

やはり中学生たちの将来を考えた、各農家の所得や、経営面、トマトやナスなどの単価といった質問が集中していたようです。

子どもたちとの接し方にもプラスに

すべての実習日程を終えた先生たち、「今まで知らなかった

東白川の新しい一面を知ることができた」考えていた以上に農業が機械化されていた」「コマツナやモロヘイヤといった話題の健康野菜が村で作られていることを初めて知りました」……などそれぞれ新しい発見があったようです。

また、この体験を

通して熊崎校長先生が次のような印象的な話をして下さいました。

「この実習を通して、例えばナス一つ例にとって見ても、栽培や収穫の方法、良いナス、悪いナスの見分け方などいろいろな見方ができることがわかりました。人から聞いた話だけの知識と実際に見て、体験したものとでは大きな違いがあります。指導の立場にある教師でさえ知らないことがほとんどだったわけですから、例えば農家であっても子どもたちはなおさらではないでしょうか。今後、子どもたちとの接し方を考えてみてもこうした体験はとも意味あるものだと思います。ふるさとを愛する豊かな心を育てることが一番大切ですから」。



美しい花束になりそう

農業体験実習日程

16:50-17:00	16:30-16:40	16:00-16:20	15:20-15:50	14:40-15:10	14:20-14:30	13:40-14:10
● トマトの栽培見学 (安江敏治さん圃場)	● 健康野菜栽培見学 (安江農務課長圃場)	● 肉牛の飼育見学 (高井吉男さん宅)	● カーネーションの栽培と出荷 (昭幸園)	● トマトジュースの加工 (味の館)	● ナスの栽培見学 (安江浩さん圃場)	● トマトの出荷 (トマト選果場)
[日向]	[神付]	[中通]	[柏本]	[陰地]	[陰地]	[陰地]



熊崎校長先生も大ハッスル

とは一味違ってた!

ふれあい体験合宿スタート

“ただいま!”とこもれびの館へ

元気に帰ってくる子どもたち。

新しい試み、「ふれあい体験合

宿」が始まりました。



みんなそろって元気に帰宅

参加希望者は

七割を超える

今年度から新しく始まった「ふれあい体験合宿」は、小学校三年生から中学二年生までを対象に参加希望を募り、こもれびの館を利用して二泊三日の合宿を行うものです。平日に合宿を行うためこの間は、学校へはこもれびの館から通学し、身のまわりのこと、例えば、掃除、洗濯などは、子どもたち自身ができる範囲で行います。

この合宿のスタートにあたっては、春先から東白川村連合PTAの話し合い、教育委員会などを交えた話し合いなどを経て、六月に、PTA会員を対象にアンケートを実施。その結果をもとに対象者の学年、実施期間などが決定され、地区別に七班を編成。九月二十日からの第一回を皮切りに、スタートとなりました。

対象となる小学校三年生から中学二年生までは、二百四十四人。参加希望者は、その七割を超える百

七十二人。まったく新しい試みだけに希望者の数が心配されましたが、予想以上の人数となりました。

さっそく広報では、この新しい試みを皆さんにお伝えするため、第一班(大口、平、参加者二十二名)の合宿をのぞいてみました。

中学生がまとめ役

仕事は役割分担

九月二十日午後六時、第一班の参加者たちは、お父さんやお母さんの車に送られて、大きなかばんを抱えながらこもれびの館へとやって来ました。

小学生が九人、中学生が十三人。元気いっぱいの子、ちょっぴり不安そうな子、みんなそれぞれに不安と期待を持ちながら入館となりました。

こもれびの館に入って最初にやったのは、自分の荷物に番号をつけること。宿泊棟の部屋には、それぞれの番号のついた衣装ケースがあり、三日間は、そのケ

こもれびの館に入って最初にやったのは、自分の荷物に番号をつけること。宿泊棟の部屋には、それぞれの番号のついた衣装ケースがあり、三日間は、そのケ

帰ったらまず宿題



中学生がリーダーになって相談会

ー스가自分の荷物入れとなります。荷物といっても洗面用具や着替えはもちろんのこと、ここから学校へ登校するわけですから、教科書類なども当然必要。「私なんか、課目が全部あるから、教科書を全部持って来たんやよ」などとおしゃべりしながら、玄関口には、山のように荷物が積まれました。

この合宿の期間中は、教育委員会の職員が、二名ずつ宿直として宿泊しますが、合宿中のスケジュールなどはすべて子どもたちが計画したものです。

この合宿に先立って夏休みの終わりに「体験合宿リーダー研修」が行われ、その研修で三日間の合宿の内容を考えました。

18:00

● 参加者受付
第 1 日

家



「ちょっと多すぎたかな？」配膳もなかなか難しい

食事の準備のほかに病気、けがといった特別の場合を除けば、ほとんどのことは、子どもたちが分担して行います。

参加者は、生活班、食事班、学習班のいずれかを受け持ち、それぞれの班長を中心に役割分担して、全員が期間中に何らかの仕事をやることになっています。受付が終わり、入館式でひとおりの説明が終わると、一担荷物を宿泊棟へ運び、さっそく食事班の出番です。

初日夕食のメニューは、カレーライス。食事は、あらかじめ委託を受けたふるさと企画が用意するシステムになっていますが、配膳などについては、すべて子どもたちの仕事です。お皿にご飯を盛りつける人、カレーをかける人、スプーンを配る人など班長さんの指示でできばきと…とは、なかなかうまくいかなかったようですが、食事になると「いつもはこんなに食べないのに」とおしゃべりしながら、何杯も食べる姿はさすがに育ち盛りのようです。



「ここは僕の場所。(…とん敷き)」

学生もおもてでボールをけって駆け回っている子や部屋でゲームに熱中している子など十二時くらいまでほんどの子が寝ることを惜しんでいるかのよう起きていたようでした。

二日目の朝は、夜更かししているにもかかわらず、合宿に参加している緊張感も手伝って、時間とおりに起床し、洗面を済ませ、生活班は部屋や外まわりの掃除を、食事班は朝食の準備ができましたが、三日目は、外まで聞こえるほど目覚まし時計が大きな音で鳴ってもほとんどの子が起きてこない状態でした。しかし、これもこの合宿から得た大切な経験の一つではないでしょうか。

楽しい食事の後は「映画上映会」が一時間にわたり行われ、アニメ映画二本を観賞。映画が終わってから入浴時間となりましたが、みんなで一緒に入り大騒ぎでした。予定では十時就寝となっていましたから、そのころには一日の疲れですっかり床についているはず、と様子をうかがってみると中学生たちは、翌日が小テストとあってこれもれびの間で勉強中。小

自分のことは自分で

キチンと……

この合宿の大きな目的は、家庭や学校では味わうことができない共同生活や集団生活を体験することが一つですが、もう一

つ大切なことは、自分自身でいろいろなことに挑戦してみることです。単純なことかもしれないませんが、朝一人で起きることや着替え、時間割りなど簡単なようになかなかできない子もいるように思います。

家では、おそらくお父さんやお母さんから「朝、起きるのがえらいから〇時になったらちゃんと寝なさい」といわれていることと思います。ところがこの合宿では、そうしたことを注意してくれる大人は誰もいません。参加者たちが、夜更かしをすれば次の日が大変だと思つたならば、今後の生活においてプラスになる大きな経験となることでしょう。

(次ページに続く)

8:00	7:20	6:30	16:00	22:00	21:00	19:30	18:30	18:00	17:00	~	8:00	7:30	6:30	6:00	22:00	21:00	20:00	19:30	19:00	18:30	
<ul style="list-style-type: none"> ● 入館式 ● オリエンテーション ● 夕食 ● 班別研修 ● 食事班・生活班・学習班 ● 体験学習① ● 映画会 ● 入浴・就寝準備 ● 就寝 											<ul style="list-style-type: none"> ● 起床 ● 洗面・朝食 ● 部屋の掃除・登校準備 ● 反省会 ● 中学生登校 ● 小学生登校 ● 中学校まで徒歩 										
<ul style="list-style-type: none"> ● 起床 ● 洗面・朝食 ● 部屋の掃除・登校準備 ● 反省会 ● 中学生登校 ● 小学生登校 ● 中学校まで徒歩 											<ul style="list-style-type: none"> ● 起床 ● 洗面・朝食 ● 部屋の掃除・登校準備 ● 反省会 ● 中学生登校 ● 小学生登校 ● 中学校まで徒歩 										



さすがは育ち盛り、食欲も旺盛です。

あと2・3日欲しかった...

ふれあい体験合宿スタート

こもれびの館から 学校へ通学

この合宿では、こもれびの館から登校し、こもれびの館へ帰ってきま。小学生は、中学校前のバス停まで徒歩で行き、そこからスクールバスに乗車することになります。

小学生が、こもれびの館へ帰る時間は、午後五時くらい。部活動を行う中学生は帰る時間が六時近くになりますから夕食までの間は、小学生たちの宿題の時間。この間は、五、六年生がリーダーです。宿題を見てあげたり、終わったあとはゲームをしたりと、テレビは無くても子どもたちなりの発想で時間を有効に使っていました。

二日目の夕食は、バーベキューです。用意されたのは、肉七割と野菜、おにぎりに。火の準備は、応援に駆けつけて下さった学校の先生や教育委員会で手伝いを行いました。それからは子どもたちまかせ。おおよそいで食べる食事の味は格別なよう、あつという間に

ほとんどたいらげ
てしまいました。

二日目の体験学習は、すべて子どもたちが企画します。これまで「きもだめし」「かくれんぼ」「トラップ大会」など

生活班を中心に小学生から中学生まで全員が楽しめるものに重点を置いたようでした。

取材に行った第一班の企画は、「きもだめし」。アイデアが良かったのか予定の一時時間を大幅にオーバーするなどどうやら二日目も十時就寝というわけにはいかなかったようでした。

最終日は朝早くから、荷物を取りにお父さんやお母さんが来られ、子どもたちの様子にほっとした様子もさることながら、元気なわが子の姿を見るお父さんやお母さんの安心しきった表情が印象的でした。

前日同様に、朝食と身仕度を済ませた子どもたちは、学校へ元気に登校して行きました。

魅力ある活動として期待

学校の活動の中でもいわゆる縦割りの仲間づくりは、いろいろな面で取り入れていますが、なかなか難しい課題の一つです。今回の合宿は、この縦割りの仲間づくりが地域で

の活動にまで広がったという点で、すばらしい試みであると思います。参加した子どもにもなりにその良さがわかっていようです。今後は、中学生のリーダーたちの下にある小学生たちが何をなすべきかを自分自身で考えられるような機会と持っています。また、こうした山村でしかできないような魅力ある活動として保護者を始めとする住民の皆さま

子離れをする機会に

親や教師の手から離れてこうした活動を行える機会に恵まれたことは生徒たちにとって大変意味のあることだと思えます。子どもたち自身も自分を振りかえる時間を持つことができましたし、親のありがたみや、家庭の温かさを再認識することができたのではないのでしょうか。

今回は、初めてということもあるのですが、いろいろな面で条件が整い

いすぎていたように感じています。「楽しかった」から「良かった」「つらかった」という感想が出るようになってはじめてより意味のあるものになるのではないのでしょうか。また、子どもの自立を考えるうえで保護者のみなさんが思い切った子どもを突き放す機会となる活動だと思えます。



熊崎満夫中学校長



木村龍幸小学校長

かわいい子どもたち

だからこそ

こうして参加者たちは、二泊三日の合宿を無事に終えました。やはり最も気になるころは、参加者の反応です。

「おもしろかったよ」「楽しかったけどちょっと短かすぎた」など、話を聞いた子どもたちからは、「もっと長く泊まっていたい」という感想がほとんどでした。

まったく新しい試みとして行

ぼくの体験、わたしの合宿

帰り道が楽しかった



東白川小学校6年生
安江 杏里さん(平)

合宿に参加して一番の思い出は、学校からの帰り道です。こもればの館までの坂がとても急でえらかったけどみんな荷物を持ち合って帰りました。3日めの朝は、男子の子が起きるのが遅くて朝ごはんを食べる時間もないくらいでした。

ひとこと

夜更かしたゲーム大会



東白川小学校6年生
田口 雅士さん(神付)

夜、みんなで将棋やトランプなどのゲームを遅くまでやったことが一番楽しかった。最初の夜は12時くらいまで起きていたけど2日めは、10時半くらいに寝てしまいました。もう少し長いこと泊まりたかったです。

ひとこと

みんな協力してくれて…



東白川中学校2年生
服田ゆかりさん(平)

リーダーということで最初は、計画どおりうまくいくかながらうので仲良くしてくれるかどうか心配していましたが、みんなが協力してくれたので考えていた以上にスムーズにできたと思います。おあぜいで一緒に勉強したことも良い思い出です。

ひとこと

洗濯も体験しました



東白川中学校2年生
安江 朋希さん(上親田)

班が決まっていた参加者全員がそれぞれ仕事があったことは良かったと思う。期間中には、自分で洗濯もやりました。干すところがなかったのが部屋の中に干したりして…。やっぱり2泊3日は短く感じたので、1週間くらいあっても良いと思った。

ったこの体験合宿。当初は、「一週間くらいを目安に」ということで考えられていたわけですが、いろいろな経緯を経て二泊三日となりました。確かに同じ二泊三日であっても、異学年の子たちが寝起きをともにするといった意味では、修学旅行などとまた違った意味を持つことなのでしょう。しかし二泊三日という期間ではどうしても、ただ楽しいうちに終わってしまうのではないのでしょうか。

「さて、何をしようか」と子どもたちが考えて、初めてそこに何かが生まれると思います。例えば各家庭で、子どもたちが脱ぎ散らかした服、お母さんはいませんか？

「かわいい子には旅をさせよ」ということわざがありますが、ともすれば主体性が欠如しがちといわれている現代っ子。私たちは中学を卒業し、白川高校へ進学する子や家から通える範囲で就職する子を除けば、中学卒業と同時に、親元を離れ、下宿や寮生活といったいわゆる縦割りの生活が始まります。



こもればの館から「ってきます」

「かわいい子」だからこそ遠くから見守ってやるこうした機会を与えてみてはいかがでしょうか。



小、中学生が熱演した「寿曾我対面」

若手とベテランが 華麗に競演

郷土歌舞伎公演

今回で十七回目を数える郷土歌舞伎公演が去る九月二十三日（秋分の日）、中学校体育館において盛大に行われ、詰めかけた約三百人を超える観衆を魅了しました。

今年の舞台で演じた役者のうち、最年長は、六十六歳の田口七郎さん（平）。最年少は、七郎さんのお孫さん小学一年生の友子ちゃん（9）。若手とベテランが見事にタイアップしたすばらしい公演となりました。

中学校体育館での 最終公演

公演当日の秋分の日は、今年一年を象徴するかのような、ときおり雨の混じるあいにくの天候でしたが、例年どおり正午から文化協会、六サークルによる民謡や舞踊などの芸能まつりに引き続き、歌舞伎開始は、午後二時から。今年の舞台は、四幕。熱演あり、笑いを誘うようなこっけいな場面ありとどの芝居も大好評となり、中でも円熟したベテランの演技もさることながら、小中学生十五人だけで演じた「寿曾我対面」でのかわいらしい演技にはひときわ大きな拍手が送られました。



また、来年からは、舞台がはなのき会館へと移るため、中学校体育館での公演はこれが最後のままで舞台を盛り上げた役者の皆さんも「特設舞台作りから始めなければならぬので大変でしたが、最後となれば少し寂しい気もしますね」と慣れ親しんだ舞台での最後の演技とあつて思い出に残った公演となったようでした。

郷土芸能として 歌舞伎を守りたい

今年の歌舞伎公演で初舞台を踏んだのは、子どもたち五人を含めた十人。役者の世代交替は着実に進んでいます。その反面舞台を陰で支える裏方の皆さんは、歌舞伎が復活した昭和五十二年当時とほとんどメンバーが代わっていません。このため事務的な面など愛好会単位では継続が難しくなってきました。愛好会側からもこの点を心配する声が高まり、今年の公演を最後に愛好会としては解散し、郷土芸能を守っていくことを目的に今までの愛好会に加え、支援団体を含めた歌舞伎保存会を結成することになりました。現在はその準備段階ですが、

加子母明治座創建百周年で熱演

去る九月十二日、加子母村明治座で行われた「第一回飛騨・美濃歌舞伎大会」に東白川村の歌舞伎愛好会の皆さんが出演、「菅原伝授手習鑑（車引）」を披露しました。

この大会は、現在県下に二十六団体ある歌舞伎保存会を保護していくために県教育委員会などが中心となって準備している「飛騨・美濃歌舞伎保存振興協議会」（仮称）のいわば旗揚げ興行。東白川村の愛好会を含め五団体が出演したものです。

県下に二六もの農村歌舞伎保存団体がある県は、ほかにはないとのこと。また今年が加子母村明治座創建百周年ということもあって会場が明治座となつたとか。名譽大会長の梶原県知事も鑑兜であいさつに訪れるなど今、農村歌舞伎は大きな注目を集めています。



すっかりベテランの演技？細井、星名両先生



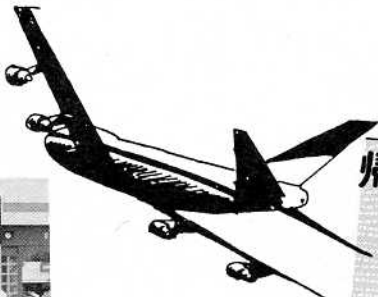
明治座は満員御礼

帰国直撃インタビュー

アメリカ 神戸先生米国紀行



東白川中学校
神戸 誠 教諭



東白川中学校教諭、神戸誠先生が去る七月二十二日から約二か月間、文部省の英語担当教員海外研修に臨まれ、アメリカを訪問されました。
広報では、さっそく帰国後間もない先生を尋ね、「肌で感じたアメリカ事情」を伺ってみました。

一番の驚きは スケールの大きさ

今回、神戸先生が参加された研修は、英語教育の充実を図ることを目的として、文部省が主催し毎年行っているものです。

参加者は、全国から選ばれた中学、高校の英語教師百八十余名（岐阜県三名）、この内、神戸先生は、ミネソタ班二十二名の一員として、五十七日間、アメリカの八都市で研修されました。

「すべてにおいてスケールの大きいこと」これは、感想を伺ったところ、先生が開口一番おっしゃった言葉です。アメリカはもとより海外へも初めてだったという先生は、国の大きさはもちろんですが、住んでいる人たちの考え方の大きさや、たくさんの人種がそれぞれ



神戸先生が立っている小学校の教壇

の文化を持ちながら一緒に暮らしていることに一番驚きを感じたようです。

七月二十二日、旅出された先生は、サンフランシスコに到着された後、ミネアポリス市にあるミネソタ大学で約一か月の講義を受講。この間は、大学が夏休みということもあって、日本風といえば学生寮が宿泊所となったとか。英語や、アメリカ史、文化の講義を始め、短期のホームステイも体験されたようです。

ミネソタ大学での研修を終えられた後は、ボストン、ニューヨーク、ワシントンの東海岸の三大都市にて、それぞれ一、二泊のローリングセミナー研修。これは、宿泊所と移動のバスの時間が教えられるだけであとは、全て自由行動。各地の名所を尋ねられたことはもちろんですが、

おしらせ

働くみんなのパートナー 正しく手続き労働保険

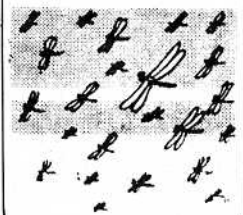
十月は「労働保険適用促進月間」です。

労働保険とは、雇用保険と労働保険を総称したもので、失業や業務災害などから労働者、事業主の方々を保護する制度です。労働者を一人でも雇用している事業主は法律上加入が義務づけられていますので、未加入の方は今すぐ手続きして下さい。また、一週間の所定労働時間が二十二時間以上のパートタイム労働者も、一定の要件を満たせば雇用保険の被保険者となります。

※詳しくはハローワーク美濃加茂（美濃加茂公共職業安定所）へお尋ね下さい。

十月は「高齢者雇用推進月間」です

本格的な高齢化社会の到来を



迎え、今後とも活力ある社会を維持していくうえで、高齢者の雇用就業の場の確保は、最重要課題となっています。

このため労働省では「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、高齢者の総合的な雇用就業対策を推進するため、十月を「高齢者雇用推進月間」と定め、高齢者の雇用就業問題について、事業主をはじめ広く一般の方々には次の三点を重要課題として理解と協力を求める高齢者雇用促進運動を展開しています。

- ① 六十歳定年を基盤とした六十五歳までの継続雇用の推進。
- ② 高齢者の再就職の促進。
- ③ 定年退職後等の臨時的・短期的な就業の場の確保。

国の教育ローンを ご利用下さい

◎ 高校、短大、大学に入学、在学される方の保護者の皆様へ

地下鉄にも乗られたとのこと。

今回の研修の目的の一つにアメリカの教育事情視察、学校訪問がありました。先生が尋ねられたのは、リトルロックとフェイエットビルというアーカンソー州の二都市、高校四校、小学校二校を訪問し、教壇に立つて授業も行われたようです。この州は、日本人が訪れることがほとんどないそうですが、先生が日本の紹介の授業をされると生徒たちから日本の学校の事情など次から次へと質問を受けたとか。「どちらかといえば、集団行動を取りやすい日本の子どもに比べると、生徒一人一人が積極的に行動していた」と神戸先生は語ってくれました。

自分の目で確かめた アメリカを伝えたい

五十七日間という長期間の研修を終えられた神戸先生、一番強く感じたことは、「日本人が完全に使える英語をマスターするには、かなり時間を要する」ということです。

「聞く、話す、すべてにおいて会話がスピーディーです。彼らがふつうに話す速度でもなかなか聞きとることが難しい。本当に生きた英語を習得するためには貴重な体験になりました。この研修では、英会話はもちろんですが、教科書に登場する町や、名所などを自



ミネソタ州祭のパレードのようす

分の目で確かめることもできなかったから、これからの英語の授業で自分が実際に訪れた所を説明できるという点でも本当に大きなプラスになったと思います」と話して下さいました。

募集！私のまち写真コンテスト

まちづくり月間実行委員会では、「まちの表情や、まちを舞台とした人々の活動」をテーマに「第11回私のまち写真コンテスト」を実施します。

●主催／まちづくり実行委員会
(後援／建設省)

●応募方法／・サイズは白黒、カラープリントでキャビネ以上から四つ切りまで。
・作品の裏に題名、撮影場所、撮影年月日、氏名、年齢、性別、住所、電話番号、職業(学生の場合は、学校名、学年)を明記のうえ、作品が傷まないよう包装し、お送り下さい。(1人何点でも可)

●送り先／〒113 東京都文京区本郷2-17-13 (社) 日本交通計画協会内「私のまち写真コンテスト」事務局

●締切／平成6年1月15日

※詳しくは、役場土木係(有線2171)までお尋ね下さい。

図書コーナー

悪童日記



アゴタ・クリフト 著

人間ばなれした双子の男の子に、背すじがゾーっとさせられました。人類とは暮らす環境とか、立場で、こんな風になってしまうのかと思うと、目の前が暗くなる感じがしました。
推薦人(15歳 女)

長い長い殺人

宮部 みゆき 著



登場人物の財布が事件を語ると言う、少し異色の推理小説でした。財布が話をしている様子を思い浮かべながら、引き込まれるように読みました。中学生位の人にも、おすすめです。
推薦人(36歳 女)

☆国の教育ローン(入学時、在学中の教育費用のご利用)
・融資金額 百五十万円以内(学生、生徒お一人につき)
・返済期間 八年以内・据置期間 在学期間以内(最長四年)
・利率 年四・八割(平成五年十月一日現在)
※詳しくは、国民金融公庫多治見支店(☎〇五七二(二二)六三四一)まで。

赤い羽根共同募金

に「ご協力」を

「ひとりひとりの優しさは、社会の資産です」を統一スローガンにして、赤い羽根共同募金



運動が、今年も十月一日から十二月三十一日までの三か月間にわたって全国で展開されます。この運動は、民間社会福祉事業に必要な資金を集めるための国民たすけあい運動です。
赤い羽根は、組長さんを通じて各戸にお配りいたしますので、赤い羽根を胸に、みなさんの温かい善意をお願いいたします。

訪問

ただいま長寿村一番 田口はるさん九十八歳

九月は敬老の月。今年も九月十三日、村長の高齢者訪問が行



村長と握手されるはるさん

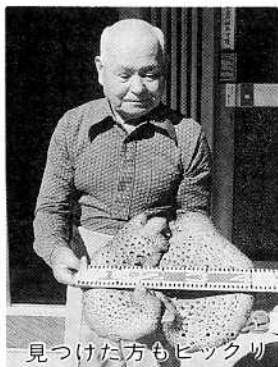
われ、数え年八十八歳の方十五名と数え年九十五歳以上の方三名のお宅を尋ねました。

現在村内に九十歳以上の皆さんは二十五人。最高齢者は、明治二十八年生まれ、九十八歳になられる田口はるさん(中谷)。村長が訪問した日は、起きられてすぐということもあって横になられたままでしたが、いつもは起きて話もされるそうです。

記録

ギネスに新規登録確定! 直径41cmの巨大カワタケ

「五十年近く山でカワタケを採っていますが、こんな大きいものは初めて」と話してくれ



見つけた方もビックリ

たのは、大明神の安江秋夫さん。この辺りでは、カワタケとして知られるこのキノコ、正式にはコウタケと違って以前は、

祝い事などに使われたという大変珍しいキノコ。普通は、直径二十センチくらいまでの大きさのようですが、今回採られたものは何と四十一センチ。

松茸の便りが届くこのころ、今年もキノコの当り年かも。

行事

スポーツの秋満喫 小学校運動会



障害物競争「ミニトライアスロン」

「待ちに待った運動会!」。

十月三日、スポーツの秋到来を告げる「東白川小学校秋の大会」が行われました。

当日は、晴天とはいきませんでした。雨が、雨もなく暑くもないといったまさに運動会日和。

今年も、例年に比べ雨が多かったです。今年も練習も思うようにいかなかったようですが、限られた時間の中で行った練習

企画

ちびっこ大集合 商工会館映画上演会

商工会では、今年完成した商工会館のPRを兼ね、九月二十



「白川の魚たち、は人気の的

六日映画上映会を行いました。上映されたのがテレビでおなじみの『ドラえもん』と『となりのトトロ』の二本とあって約二百人を超えるちびっこが集まる盛況ぶり。また会場では、商工会青年部が「川とのふれあい」をテーマに三年越しに収集したヤツメウナギなど絶滅しつつある、白川の魚七点のはく製展示を行い大好評となりました。

の成果を見事に披露しました。この日を待っていたのは子どもたちばかりではありません。手に手にビデオやカメラを持ったご父兄の皆さんは大忙しのようでした。

戸籍の窓 9月 敬称略



誕生おめでとう
ございます

(中通) 安江 元樹(陰地) 郁斗

おくやみ
申しあげます

- 五斗 巖 65歳(陰地)
 - 安江 信次 65歳(中通)
 - 桂川 文雄 76歳(日向)
 - 村雲 富郎 71歳(柏本)
- 善意の寄付 敬称略

〔社会福祉協議会へ〕

現金二万円 五斗あい(陰地)

現金十万円 桂川勇吉(日向)

現金一万七千円 立正佼成会

東白川一同

〔東白川病院へ〕

▼医療器械整備資金指定

現金二十万円 村雲裕(柏本)

〔東白川小学校へ〕

誕生

今、最も注目株！
軽スポーツグラウンドゴルフ

村に軽スポーツグラウンドゴルフが登場して三年余り。去る



ナイターで興じる
越原のみなさん

九月十九日には、村内大会が開かれ、三十五名が参加。年代別に六チームが編成され熱戦が繰り広げられました。

ところでこのグラウンドゴルフの自主クラブが各地区に誕生しています。越原グラウンドゴルフ倶楽部交友会もその一つ。会員は現在十六名。グラウンドゴルフを通じ楽しい仲間づくりが目標です。

発想

アイデアは若妻会！親田ちびっこ広場美しく変身

「慣れない作業だったので服がペンキだらけになってしまっ



カラーでお見せできず残念

て」と話してくれたのは親田地区の若妻会のみなさん。

去る九月二十七日から二日間をかけ若妻会のみなさんをはじめ、親田のみなさんの手によってちびっこ広場周辺の草刈りとペンキ塗りが行われました。

滑り台などの遊具からフェンスに至るまで青、赤、黄の三色で鮮やかに塗装されたちびっこ広場は子どもたちの自慢です。

研修

「山仕事って大変だ」
東中生徒間伐にチャレンジ

子どもたちに林業の大切さを理解してもらいたい。



「たおれるゾー」

生（四十二名）を対象に「林業体験学習」が後山分取造林、少年の山で行われ、生徒たちが間伐にチャレンジしました。

この試みは、林業グループが主催するもので今年で五回目。今年の受講生は例年より優秀だった」とは主催者側のご感想。間伐終了後、参加者は近くの谷川の水源を訪ねるなど山の魅力の一端を味わいました。

奉仕

ガードレールもピツカピカ
一日奉仕・営繕作業



「気がつかないうちに汚れているんです」

今回で四回を数え、すっかり秋の恒例の行事となった感のある商工会員による「一日奉仕・営繕作業」が、去る九月二十六日村内各所で行われました。

今年ボランティアとして作業に参加された会員は商工会青年部、婦人部を含めた百七十六人。道路沿いの空缶拾い、延長三。に及ぶガードレールやカーブミラー、案内標識等の清掃などを

はじめ建築部会の皆さん四十三人による小中学校、各保育園の破損箇所修繕作業など盛りだくさんの内容。清掃されたガードレールなどは、新品のような輝きを取り戻していました。

はじめ建築部会の皆さん四十三人による小中学校、各保育園の破損箇所修繕作業など盛りだくさんの内容。清掃されたガードレールなどは、新品のような輝きを取り戻していました。

花の球根多数―鈴木札二（陰地）・安江正樹（神付）・安江正和（曲坂）―本―堀江卓也（刈谷市）
〔越原保育園へ〕
わらぞうり四十五足―安江正之（曲坂）

■工事入札の結果

①は入札期日②は落札金額
および落札業者

（ん）

▼柏本・宮代線開設工事

（は）

①九月十三日②二千二百八十六万六千円、丸登建設㈱

（じ）

▼柄浜線舗装工事

（い）

①九月十三日②一千五百九十六万五千円、大腸建設㈱

（け）

▼白川瀬音公園整備二期工事

（こ）

①九月十六日②八百十三万七千円、㈱マルト土木

（か）

▼大シデ林道舗装工事

（き）

①九月十六日②二千五百十三万二千元、丸登建設㈱

（く）

▼中根林道開設工事

（こ）

①九月十六日②二千五百二十万五千円、㈱立保土木

（け）

▼中根林道開設工事

（こ）

①九月十六日②二千五百二十万五千円、㈱立保土木

（け）

▼中根林道開設工事

（こ）

①九月十六日②二千五百二十万五千円、㈱立保土木

（け）

▼中根林道開設工事

（こ）

①九月十六日②二千五百二十万五千円、㈱立保土木

はじめ建築部会の皆さん四十三人による小中学校、各保育園の破損箇所修繕作業など盛りだくさんの内容。清掃されたガードレールなどは、新品のような輝きを取り戻していました。

このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみればホウ！
1歳のあの子の顔が...



高井和貴くん

(三郎さん・恵美子さん長男一黒潮)

満1歳

ふれあい広場

新婚さん♡

■ワン・ショット■

残念なことには二か月の連続してこの欄で紹介する新婚さんがありませんが、今月は、結婚に関する話題

「ベキューやビンコゲーム、白タイム」まで用意されたまさに若者向けに趣向を凝らしたパーティーとなりました。

参加者は村からの参加も含め男女合わせて五十人。気になる結果は？といえは六組のカップル誕生となったとか。

を紹介したいと思えます。十月二日、白川町クオーレの里において「ねるとん風バーベキューパーティー」が行われました。



「告白タイム」のようす

ふれあい再発見

② 航空路

夏から秋にかけての夕暮れどきは、人の気持ちに空に惹かれるときでもあります。

すすきの穂の向うで刻々と色を変えて行く夕焼け、それを見上げてしばしの感傷に浸たるとき、一直線にどこまでも続いた飛行雲を目にした経験は、誰にも一度や二度はあることでしょう。

空には障害物がないので、飛行機は自由にどこでも飛び回ることができると思いがちですが、実際は厳密にその範囲が限定されています。

航空機の飛ぶコースを「航空路」と呼ぶことは知られていますが、その航空路が東白川村の上空に集中していることはあまり知られていません。

まず、村の上空を北東から南西方面に通るコース、これは名古屋と新潟、秋田、札幌を結ぶ航空路で、特に新潟発一七〇〇五、名古屋着一八〇〇〇全日空三二二便、千歳(札幌)発一八

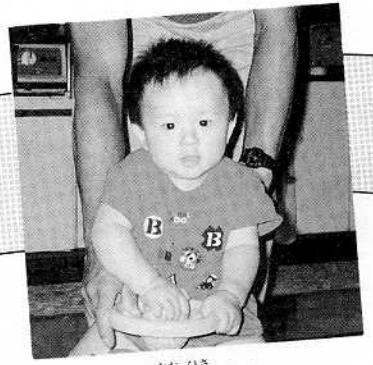
五五、名古屋着二〇三三、五日本航空八六〇便など、夕方六時から八時までの間に十便以上が集中して私達の頭上を行き交います。

この航路を横切るように、東京(羽田)鳥取、東京米子間を飛ぶコースは、ほぼ東西に村の上空を通過します。

これも又鳥取発一八四、五、東京着一九五五全日空三〇〇便など五便が夕ぐれどきに集中しています。

飛行機は遠距離の移動に使われるためにありますから、国内線のダイヤは午前七時から十時までと、午後三時から八時ころまでの往復時間帯に集中するのが当然ですが、午前中は人の意識は自分の生活に向いているのになら、夕ぐれは一日の活動を終えて安息の時を迎えようとする心の余裕がそささるのでしょうか。私たちの頭上の空には見えないけれど「道」があるのです。





▲安江直久くん
(友則・浩子さん長男—上親田)



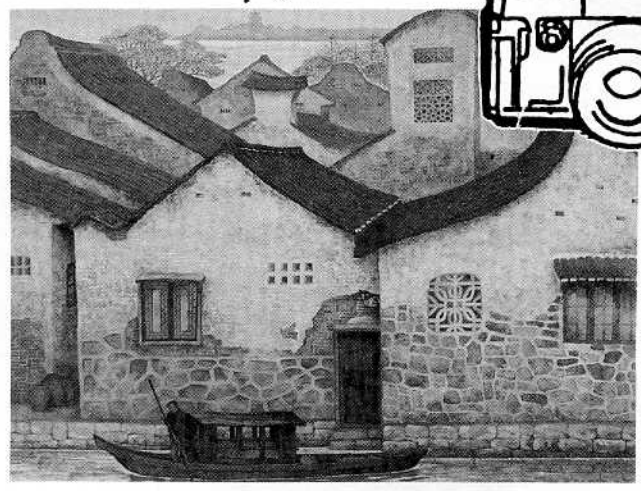
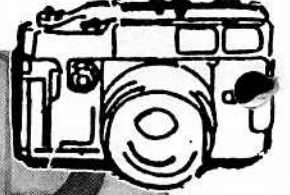
本村出身の日本画家田口愛子さんが、第七十八回院展入選作の写真とお便りを下さいました。

「ロンドンに咲いた菜の花」
日本美術院院友 田口 愛子
東白川村の立村百年を祝う記念式典が、どこまでも澄み切った晩秋の良き日に盛大に催されたあの日、会場に時ならぬ「菜の花」がいつぱいに咲き輝いた「陽春」(第七十三回院展入選作品)

は、郷里の皆様には、心を込めてご寄贈申し上げた作品でした。故郷に錦ならぬ花を飾っていただいたあの時の感激と喜びは、生涯を通じて永遠に忘れ得ぬ出来事でした。以来、山紫水明の地に二年余り静かに咲き続けていた菜の花に突然訪

ホットアングル

第78回院展
「太湖畔」
田口愛子画



れた晴天の露とでも申しませうか、まったく予期せぬ果報、日本外務省在外公館より「陽春」を譲って欲しい」とのご要望を受け、しかも英在日本大使館に贈る作品とのこと、これは絵描きにとつて大変名誉なことで夢ではないかとさえ思ったほどでした。しかし、既に郷里に贈った作品随分悩んだ末、ご批判をいただくことも覚悟の上、他の入選作品との交換を願ひ出ることとしました。村長さんをはじめ、村民の皆様の暖かいご理解をいただき、晴れて平成四年四月、英在日本大使館レセプションホール中央に黄色い菜の花をいつぱいに咲かせていただくことがで

きました。これも皆様のお陰と改めてお礼申し上げます。時折テレビにロンドンの街並が映し出されるたびにきまつて郷里の風景とだぶつて菜の花が美しく咲く姿が目につかびます。最近では、この春旅行した中国無錫太湖畔の古い街並を題材にした作品が、お陰様で十四度目の院展入選を果たすことができました。これは、十二月二日から愛知県美術館で展示されます。郷里の皆様も機会がございましたら是非ご高覧賜わりますこと楽しみにいたしております。

お話を きかせて ください

独居老人訪ねある記

「娘みたいなヘルパーさんが訪ねて来てくれる日が楽しみですわねえ」と話してくれたのは、今月お訪ねした黒淵の安江さわさん。

さわさんは、大正二年のお生まれで今年八十歳になられました。一昨年ご主人を亡くされて以来一人暮らしです。「一人になったとき子どもと一緒に住むよう勧めてくれましたが、ここからなかなか離れがたくてねえ。毎日、近所の衆が、必ず一人や二人はのぞいてくださるでさみしいことはありません」。

ここ数年、寝込んだことなどないと話される健康なさわさんですが、何年か前に足を患ったため、今は、しゃがむことができないくらい足が悪くなりしました。「毎日、食事の支度をやるとやるくらいなこと、あとはほとんど家にいます。ヘルパーさん

には、今年春から来ていただきましたが、本当に何から何までめんどうを見て下さってありがたいことですよ」。

足が悪いこともあつてなかなか外出もできないさわさんの今一番の楽しみは、何といつてもせせらぎ荘へ行くことだとか。

「せせらぎ荘のある日は、車で家の前まで迎えに来て下さつて、足が悪い私でも安心して連れていってもらえます。なにしろ隣近所の人でもせせらぎ荘でしか会えないくらいですから、行ききの車の中から、昔とすつかり変わった風景を眺めながら、おしゃべりすることが楽しくて、その日は、一日がたつのがあつという間ですね」。一か月に一度のこのお出かけがさわさんの元気の素のようです。



安江さわさん(黒淵)

わたしの作品



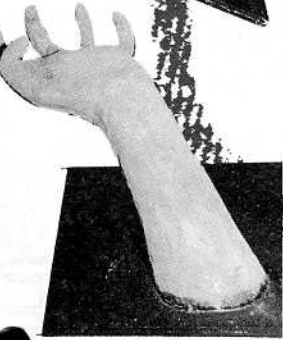
▲「ぼくのふえ」
東白川小学校2年生
村雲洋介さん(加舎尾)



▲「あきのそら」
五加保育園もも組(年少)8名共同作品



▲「人を押す手」
東白川中学校2年生
今井大明さん
(大沢)



▲「手のひら」東白川中学校2年生
今井 功典さん(大沢)



▲「犬とおいかっこ」
東白川小学校4年生
安江摩耶さん(大明神)

広報文芸

● 短歌

台風の前で去りて堪える涼しさに仕舞い忘れしジャンパーを探す安江 香
妻逝きて仕事余れるトマト畑孫等二人の手伝ひくるる 安江 化平
● 長雨と冷夏に出穂の遅れしを憂ひつつ暫し田の畦に佇つ 安江 澄
定植に励みしトマトその実り見もやらで逝きし幸女君よ 桂川 喜郎
● はじかみは甘酔に漬かりて薄朱くガラスの瓶に色透けて見ゆ今井 かな
築山にわが祀りたる地藏仏に秋海棠のより添いて咲く 安江 龍玉
戦友祀る奥津城の土あらわなり此処に鎮まれり天広き丘 安江嘉久一
家(八月十五日慰霊塔遷座祭に奉仕して)
安江 節子

久々にお精霊とんぼの群れて飛ぶ雨晴れし空はや秋めきて 三戸 きり
かの戦侵略なりし間違ひなりし細川首相始めて云へり 小池 弘子
● 掃き寄せしごみに混りてのふせん花の落花の朱のいろ生々し 安江と志江
● 当直の忙しき朝は病院の廊下ほとほと長しと思ふ 安江とくよ
裁板の前に座れば抽出しの中に声して蟋蟀が啼く 早瀬 久子
● 猪の有害駆除の許可おりて柵開け待ちて時ぞ過ぎゆく 安江 順子
● 節太く変形したる農婦の手湯舟の中にいたわりて揉む 荻田 清見
● 空せまく摺鉢の底の様なる故里人はねばり強しも 安江すみよ
久々の奥飛驒ドライブ過ぎし日のわが思出に友は領く 安江 守平
● 山上にベルセルルス座流星群見て来たる若き等夜半にこもごも語る 伊藤 美枝
洗顔の一掬の水の冷めたさに思ほゆ吾れも老の秋とぞ 伊藤 重雄

あなたも作品をお寄せくださいー初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します●偶数月の二十日までに神土伊藤重雄宛に出して下さい。



九月半ば
雨の日の夕暮れ、飼い犬の異様な鳴き声で表

に出てみると、庭先にある電柱に二羽のトビが来て交互に位置を入れ替えながら落ち着かなそうにしていた。▼翌朝犬の鳴き声で表に出てみると同じ所にトビが来て裏山に向かって羽根を広げ何か威嚇するような格好をした。その時トビより一回りも大きなクマタカが山裾に沿って西方の山に飛び去った。▼三年前に山へ行く途中、近くに住む野良猫が一番大きな奴が下腹の毛をハサミで刈り取られた様に喰いちぎられ、腹わたが引き出され息絶え絶えになっていたのに出くわした。余りの無残さにその場を離れた時、クマタカが現れ、引きずるように低空を向こう側の山へ持ち去った。▼近ごろ林相も変わり奥山には餌である野兎や野鳥が少なくなり人里に現れたと思うが、西方の山には集落で一か所だけキジが雛を育てている。クマタカに狙われなければと願ってやまない。